社会	資本総合整備	計画 社会資本	整備総合交付金						令和04年11月09日		
計画の名	称 三木市における	る下水道の効率的な事業の推進	(2)								
計画の其	間 令和02年	度 ~ 令和06年度 (5年	間)					重点配分	対象の該当		
交付対	象 三木市							<u> </u>			
計画の目	標健全な都市理	環境の整備並びに公共用水域の [・]	保全のため、早期の汚水処理適正化	の実現と効率的な事業の推進	生を目指す。 生を目指す。						
全体事	業費(百万円)	合計 (A + B + C + D)	423 A	423 B	0 C	0 D	0 効果促	進事業費の割合 C / (A + B +	C + D) 0 %		
		,					1,000				
				計	一画の成果目標(定量的指標)						
番号								定量的指標の現況値及び目			
			定量的指標の定	三義及び算定式 アスティー			当初現況値	中間目標値	最終目標値		
							R2年度当初	R4年度末	R6年度末		
			合を実施する。(農業集落排水の2	地区を統合)							
	公共下水道区域への	の農業集落排水区域の統合達成	率				0%	50%	100%		
	統合完了農集排地區	区(地区数) / 統合予定農集排	地区(地区数) (計画期間内は2	地区の統合を予定)							

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

基幹事業		事業	地域	六什	古拉				要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	車架中	佐田田	引(年度)	全体事業費	費用	
基幹事業(大)	番号	争業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接	事業者	種別 1	種別 2	安系となる事業名	争業内容 (延長・面積等)	市区町村石/ 港湾・地区名						個別施設計画 策定状況
茶针争耒(人 <i>)</i>	留写					<u> </u> される効果			(争耒酉州)	(延技・国債寺)	冷渇・地区石	RUZ RU	3 KU4	מטאן כטאן	(日月月)	(伊盆儿	東走仏流
		備考	- 天心 9 7	ې د د اد ۹	トリ州1寸	これの別未											
 下水道事業	A07-001		一般	三木市	古埪	三木市	管渠 (新草	流域関連下水道区域内	管路 75~250mm L=2.5km	三大市		\top		360		Τ_
1. 小足子来	7.07 001	1.700	Xer		H 1X		汚水)	371112	農集排の接続	、マンホールポンプ N=4箇							
							1/3/1/		辰米14の1女前:								
										所							
	A07-002	下水道	一般	三木市	直接	三木市	管渠(-	効率的な事業実施のため	効率的な事業計画策定	三木市				63		-
							汚水)		の基本的な施設の見直し								
									計画策定								
									1	<u> </u>	I						
											小計				423		
			-1					I	1		1						
											合計				423		
							_										_
						•	•		•		•						•

(単位:百万円)

	R02	R03	RO4	R05	R06
配分額 (a)	13	30	32	45	51
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	13	30	32	45	51
前年度からの繰越額 (d)	0	0	15	22	15
支払済額 (e)	13	15	25	52	18
翌年度繰越額(f)	0	15	22	15	48
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	14	35
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	20.89	53.03
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場				関係機関との協議、許認可	資材の納期延期により不測
合その理由				等に不測の日数を要したた	の日数を要したため
				め	

事前評価チェックシート

計画の名称: 三木市における下水道の効率的な事業の推進(2)

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	0
I. 目標の妥当性上位計画等との整合性 2)下水道の諸計画(合流式下水道緊急改善計画等)との整合性が確保されている。	0
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 3)関連する諸計画(河川整備計画等)と整合性が確保されている。	0
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1)地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	0
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2)必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	0
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1)指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	0
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2)目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1)十分な事業効果が確認されている。	0
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	0
III.計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	0
III.計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	0
III.計画の実現可能性	0
III . 計画の実現可能性	0

案件番号:0000690360

